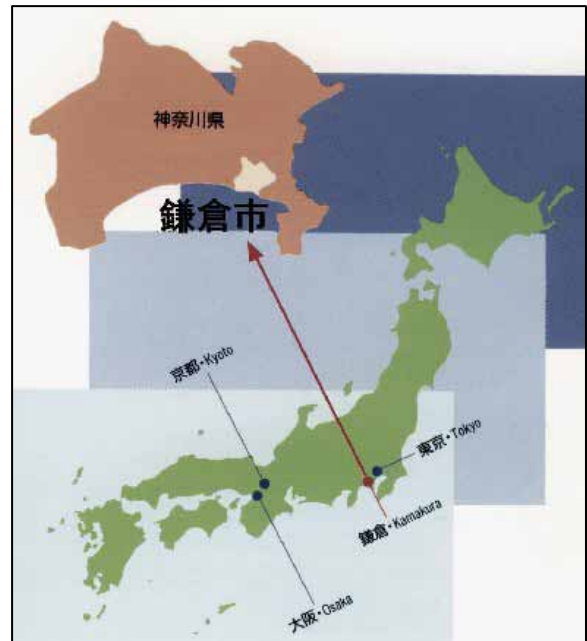


資 料

本市は、関東地方神奈川県南部に位置する、人口約17万3千人の小規模な都市です。東西8.75km、南北5.20km、面積は39.53km²であり、南は相模湾に面し、三方を多摩三浦丘陵群の小高い山々に囲まれた美しい自然環境に恵まれています。

自然の好条件を生かし、1192年に鎌倉幕府が開かれてから、伝統あるゆたかな文化と歴史的遺産が育まれてきました。近代では、急激な宅地造成がすすむ一方で、歴史的風土を守る為に市民運動が高まり、古都保存法発祥の地となりました。このように、鎌倉では環境への関心が高い市民が多く暮らしています。

また、豊かな環境資源に恵まれたため観光都市として栄え、現在では全国世界各地より年間約1,846万人(2006年)もの人々が訪れています。



(1) 気 象

表 8-1 月別平均気温(単位)

(平成18年)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
鎌倉市	5.0	6.8	9.9	13.3	19.5	21.5	23.9	26.1	23.3	19.5	14.2	9.3	16.0
横浜市	4.8	6.5	9.6	13.3	18.3	21.9	24.8	26.7	23.1	19.2	14.1	9.2	16.0

鎌倉の統計及び横浜市統計ポータルサイトより

神奈川県は気候が温暖で、平地や山地など様々な環境があるために、生物多様性や個体数が豊富だといわれています。鎌倉の気候はその中でも、南に面する海からの影響が大きく、内陸に比べて夏は涼しく冬は暖かい、県下でも気候にめぐまれた地域となっています。また風向きは、夏には南風が、冬には北風が吹く傾向があり、海岸に近い場所では一年中風通しがよいのが特徴です。

表 8-2 気象状況

年	区分	気温()			降水量 総量(mm)	湿度 年平均(%)
		年平均	日最高	日最低		
平成15		15.6	32.9	-2.6	1,805.0	79.0
16		16.7	35.8	-1.5	1,790.0	75.0
17		15.8	31.7	-1.9	1,278.0	78.8
18		16.0	31.3	-2.9	1,651.0	80.0

鎌倉の統計より

(2) 人 口

本市の人口は、昭和30年代後半から40年代にかけて大きく増加しました。我が国の社会経済環境が変化するなかで、昭和50年代以降、本市の人口増加は沈静化し、最近では減少の状態にありました。しかし、平成14年から微増傾向にあります。また、核家族等の世帯数は徐々に増加し、さらに65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は25.3%と、年齢構成のバランスが懸念されます。

表 8-3 人口 (各年10月1日現在)

年	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口の増減 (人)
平成15		67,950	168,724	1,094
16		68,984	169,866	1,142
17		69,384	171,122	1,256
18		70,540	172,820	1,698
19		71,335	173,263	443

鎌倉の統計より

(3) 産 業

本市の産業構成は、第3次産業が一番多く、次に第2次産業、第1次産業となっています。本市の商業の構成は、小売業が占める比率が高く、また観光都市という立地条件から飲食店と食料品小売業の比率が高いのが特徴です。工業は、少数の大規模事業所があるほかに、市全体では小規模事業所が今日では一部の住宅と混在しており、これに対応するために環境の調和を図りながら集団・共同化をめざしていく必要があります。

表 8-4 産業 (各年10月1日現在)

年	区分	第1次産業 <農業 林業 漁業>		第2次産業 <鉱業 建設業 ・製造業>		第3次産業 <運輸業 飲食店 ・サービス業など>		総数	
		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成13		2	8	781	14,083	6,504	55,453	7,287	69,544
18		4	18	637	11,817	6,226	54,282	6,867	66,117

鎌倉の統計より

(4) 土地利用

大正時代末期の鉄道の電化、工業の立地、道路整備等により、大船地域などでも市街化が始まり、昭和40年代から首都圏のベッドタウンとして、急激に市街化が進みました。現在は緑豊かな住宅都市となっています。

表 8-5 市街化区域および市街化調整区域 平成16年3月31日現在

区分	市街化区域	市街化調整区域	総 計
面積(ha)	約2,569	1,384	3,953
比率(%)	65.0	35.0	100.0

平成15年9月26日神奈川県告示

表 8-6 用途地域別面積

平成16年3月31日現在

区分	第一種低層 住居専用地域	第一種中高層 住居専用地域	第二種中高層 住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	計
面積 (ha)	1,294.0	515.0	1.7	268.0	108.0	23.0	86.0	30.8	77.0	133.0	33.0	2,569.5
比率 (%)	50.4	20.0	0.1	10.4	4.2	0.9	3.3	1.2	3.0	5.2	1.3	100.0

平成15年9月26日神奈川県告示

(5) 交通の状況

道路交通状況は、横浜横須賀道路、国道1号、国道134号などの広域幹線道路が市の外側または外縁部に位置し、市域を囲んでいます。また、公共交通の状況として、JR、江ノ電、湘南モノレールがあり、市の規模から見ると充実しています。バスのルートは、ほぼ市内の各所をカバーしており、サービス水準は高いものの、交通渋滞等による定時運行の困難さと運行速度の低下、一部の住宅地でのバス利用の困難さ、などが問題となっています。

(6) 財 政

本市の財源は、自主財源の割合が大きく、財政的に比較的自立した地方自治体であると言えます。全体のうち市税収入が64.8%を占めていることも大きな特徴です。

表 8-7 一般会計決算額 (歳入)

(平成19年度)

区分	自主財源					依存財源				総額
	市税	負担金 分担金及び	財産収入	諸収入	その他	地方譲与税	交付金 交付税	国県支出金	市債	
決算額(百万円)	36,427	485	100	1,966	5,352	399	2,880	5,984	2,609	56,202
比率 (%)	64.8	0.9	0.2	3.5	9.5	0.7	5.1	10.6	4.6	100.0

表 8-8 一般会計決算額 (歳出)

(平成19年度)

区分	総務費	民生費	衛生費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	総額
決算額(百万円)	7,836	14,607	5,333	10,765	2,673	5,346	5,113	2,817	54,490
比率 (%)	14.4	26.8	9.8	19.7	4.9	9.8	9.4	5.2	100.0

表 8-9 環境対策に係る主な決算概要（平成19年度）

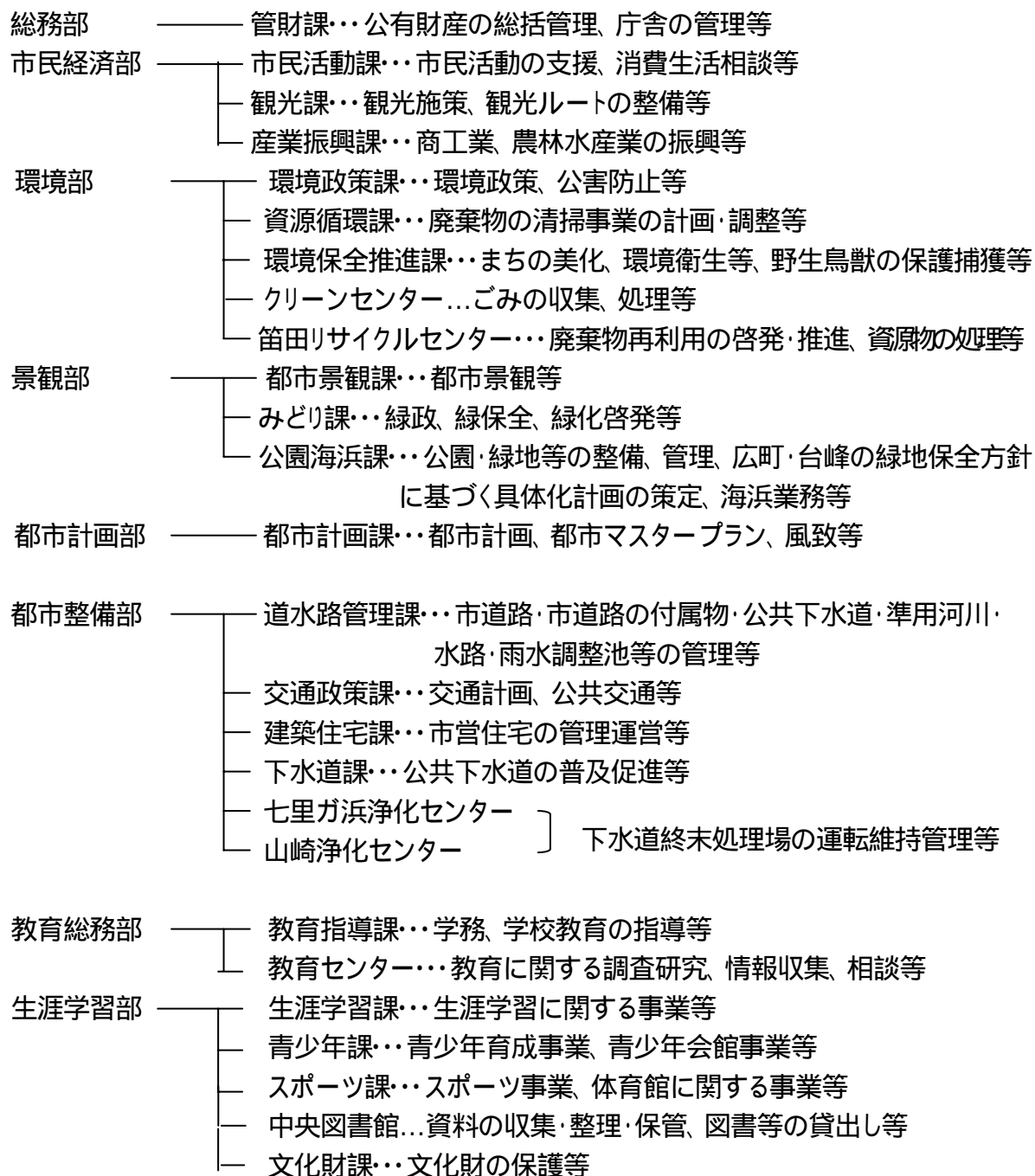
単位：千円

事業名	事業内容	事業費
緑政の経費	都市緑化の推進	443,014
	・緑化啓発事業	
	・街路樹維持管理事業	
	・樹林維持管理事業	
	・緑地保全事業	
	・緑地取得事業	
	・緑地維持管理事業	
	・風致保存会助成事業	
	・緑政運営事業	
環境政策の経費	環境基本計画推進事業	5,697
	・環境審議会の開催	
	・環境保全に関する講演	
	・環境保全団体支援事業	
	・行動指針の普及啓発	
	・エコオフィス化推進事業	
	・環境白書の作成	
	・雨水貯留槽設置助成	
減量化・資源化の経費	循環型社会の構築事業	957,225
	・ごみの分別収集運営事業	
	・減量化資源化運営事業	
	・植木剪定材堆肥化事業	
	・その他	
景観の保全と創造	都市景観形成事業	13,888
	・都市景観施策の推進	
	・景観審議会の設置	
	・景観アドバイザーの設置	
	・景観形成推進委員の設置	
	・景観形成協議会への助成	
公害対策事業	公害防止事業	10,732
	・地盤沈下精密水準測量調査	
	・自動車排出ガス等環境調査	
	・河川水質調査	
	・二酸化窒素大気環境調査	
	・有害大気汚染物質調査	
	・深夜花火禁止啓発事業	
	・子ども向け酸性雨調査	
	・子ども向け水質調査	
合 計		1,430,556

表 8-10 かまくら環境白書作成に携わる関係各課の組織図（平成20年度）

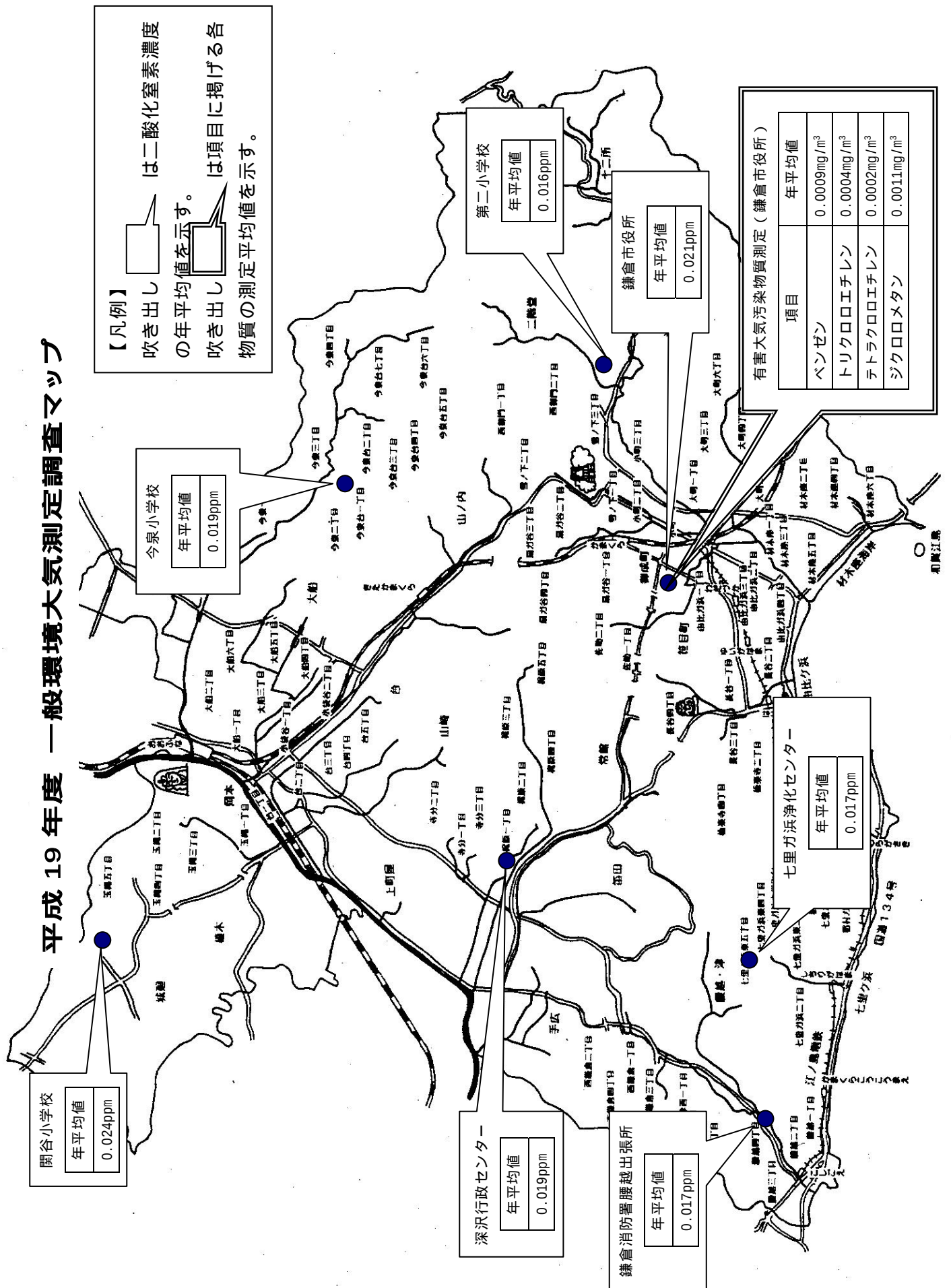
経営企画部 ——— 広報課… 広聴活動、広報紙発行等、地域情報化等

* 世界遺産登録推進担当…世界遺産一覧表への登載の推進等

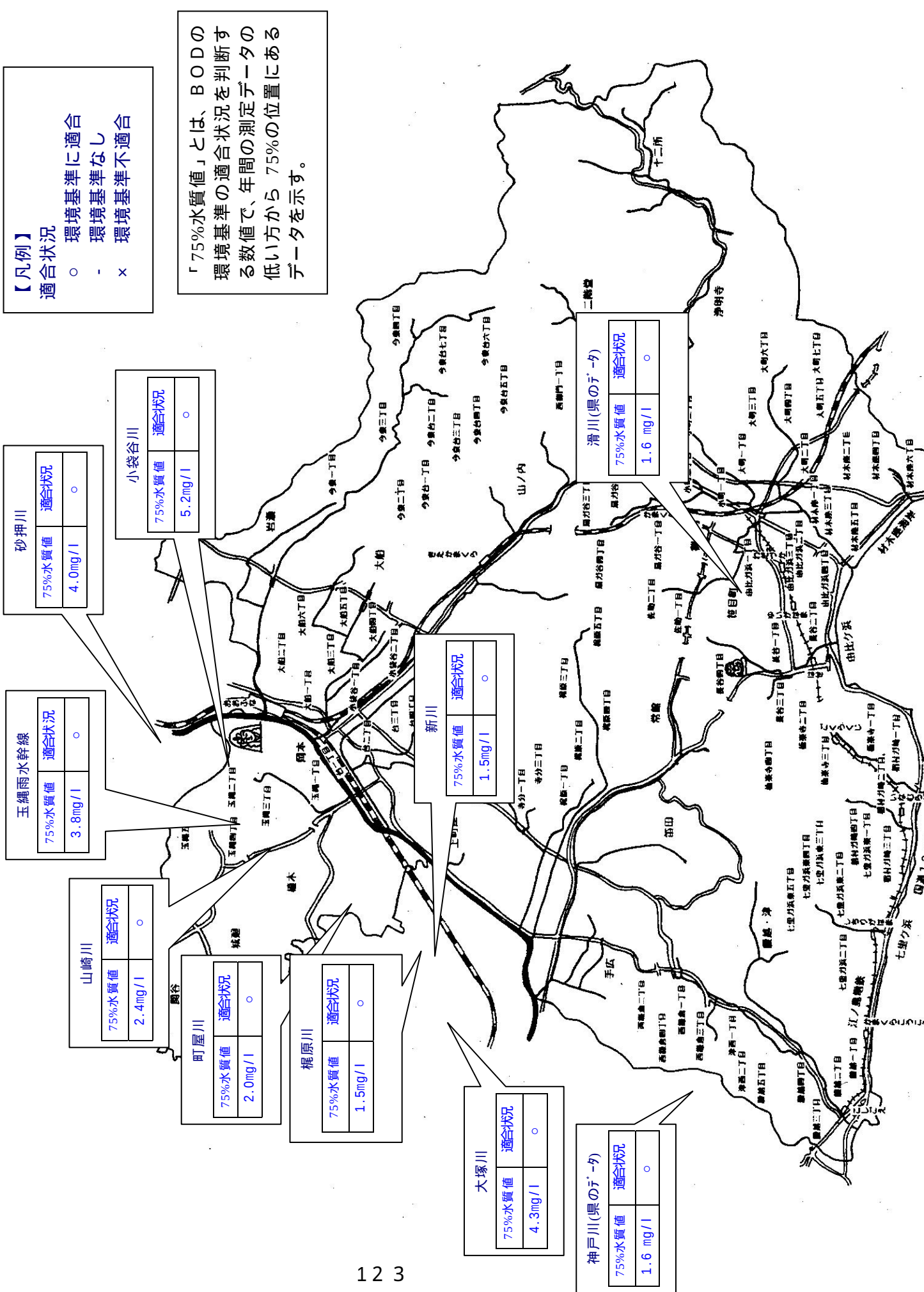


* は特命担当

平成 19 年度 一般環境大気測定調査マップ



平成 19 年度 河川水質調査マップ(BOD)



平成19年度 道路交通騒音マップ

9	一般県道 402 号 阿久和鎌倉線 [植木] b			
道路面(一住)	昼間	67 dB	夜間	64 dB
背後地(一住)	昼間	49 dB	夜間	49 dB

8	一般県道 302 号 小袋谷藤沢線 [植木] a					
道路面(一住)	昼間	66	dB	夜間	65	dB
背後地(一高)	昼間	47	dB	夜間	46	dB

11	市道 055-000 号線 [津西1丁目] a					
道路面(一低)	昼間	67	dB	夜間	63	dB
背後地(一低)	昼間	56	dB	夜間	48	dB

7	一般県道 304 号 腰越大船線 [腰越]b					
道路面(一住)	昼間	67	dB	夜間	64	dB
背後地(一住)	昼間	46	dB	夜間	43	dB

一般県道 311 号 鎌倉葉山線【大町 5 丁目】b					
2	道路面(一住)	昼間	69 dB	夜間	64 dB
	背後地(一住)	昼間	47 dB	夜間	49 dB

3	一般国道 134 号 [材木座 6 丁目] b					
道路面(一住)	昼間	73	dB	夜間	71	dB
背後地(一住)	昼間	47	dB	夜間	77	dB

平成19年度道路交通騒音調査は、6地点(背後地を含めると12地点)で測定を実施した。道路面は要請限度及び環境基準により評価し、背後地は環境基準のみで評価した。
[凡例]

要請限度を超過した測定値を示す。
環境基準を超過した測定値を示す。

1.4.5.6.10.12ポイント、18年度測定地点